

秋田県水道ビジョン策定委員会 (第 1 回)

日 時 令和元年 10 月 17 日 (木)

13 : 30 ~

会 場 秋田県庁第二庁舎 5 階 52 会議室

第1回秋田県水道ビジョン策定委員会概要

■開催日時 令和元10月17日（木） 13:30～15:30

■開催場所 秋田県庁第2庁舎 5階 52会議室

■出席者 西村委員長、金委員、佐藤委員、高橋委員、金森委員、今委員、村岡委員

【事務局】委員紹介及び委嘱状交付

【事務局】水道ビジョン策定委員会について

1. 委員会設置要綱について、資料に基づき説明
2. 策定スケジュールについて、資料に基づき説明

【事務局】委員長選出について

委員の互選により西村委員を委員長へ選出

【委員長あいさつ】

今回の台風19号では想定外の大雨となり、東北あるいは全国的にも大変な被害が発生しており、水道においても断水等の被害が発生している。前回の台風15号では、非常に強い風が吹き、関東を中心に今も被害が続いている。異常気象が日常的になってきており、水道事業は極めて気象の影響を大きく受けるため、今後に備えて今からしっかりとした体制を整備していかなければいけない。

秋田県に限った問題ではないが、これからは人口減少という大きな問題がある。水道においても、人口が減少すると結果として水道料金収入が減少するため、とても大きな影響が及ぶことになる。

水道ビジョンの策定に関して、50年、100年というものをできるだけ見通して具体的なイメージを想定しつつ、当面の目標として、この10年のビジョンを議論をすることになる。

これからの世代の県民や子供たちのために、将来へ水道をどのようにつなげていくか、この委員会で議論させていただき、意見を頂きながらまとめていきたい。

【議 題】秋田県水道ビジョンの策定について

1. 水道ビジョン策定趣旨及び秋田県の一般概況について

【事務局】 資料に基づき説明

●質疑事項

【委 員】 1)「秋田県の工業用水使用状況の推移（淡水）」について、平成29年度に用水量が増加の傾向に変わっている要因はなにか。

2) 同じく平成29年度上水道が、前年に比べて増えている要因はなにか。

【事務局】 後日回答します。

【委 員】 3)「人口」について、「全国的な傾向と同じく少子高齢化が進展しています」とあるが、「秋田県は全国一のペースで」ということがわかるように記載した方が良いと思う。

4)「産業・経済」について、世界の国との比較でバーレーンとラトビアとあるが、比較の対象として、もっとわかりやすい記述にしたほうが良いと思う。

【委 員】 5)「水資源」について、水資源賦存量を算出しているが、東北までは整理されているが、秋田県としての数字が出ていないので、県の水資源賦存量を示した方が良いと思う。

【事務局】 再度整理します。

2. 水道の現況について

【事務局】 資料に基づき説明

●質疑事項

【委 員】 1)「水道施設」について、耐用年数を超過している水道施設、管路設備があると思われるが、前回の水道ビジョンには耐用年数を超過している施設のデータがあるが、今回はデータがないので追加した方が良いと思う。

【事務局】 追加します。

【委 員】 2)「基幹管路の耐震化状況」について、図3-9では赤枠が耐震性のある管路という表現になっているが、図3-10以降は赤が耐震性なしとなっており、色の使い方がわかりにくいので修正した方が良いと思う。

【事務局】 修正します。

【委員】 3)「有収水量、有収率」について、平成29年度に低下しているが、老朽化が原因のほか水害の発生により、管の漏水と水害での減免等があったので下がったのではないかという見解を持っている。平成30年度の速報値を確認した方が良いと思う。

【事務局】 確認します。

【委員】 4)「水道普及率」図3-1について、専用水道はグラフにするとカウントされないぐらい微々たるものになる。簡易水道と上水道との比較のために記載されていると思われるが、実際データとしては、分かりにくいので修正した方が良いと思う。

【事務局】 修正します。

【委員】 5)「水道料金」について、この図で示したかったことは、県内でもこれほど料金に差があるということだと思いますが、その要因について記載を追加した方が良いと思う。

【委員】 6)「水道の概要」について、水道事業に関わる職員について、今どういう状況なのか、あるいはこの10年間で人員が減少し、どういう状況になったか整理した方が良いと思う。

【事務局】 再度整理します。

3. 圏域の区分について

【事務局】 資料に基づき説明

●質疑事項なし